

## VBrick と Spark の統合ガイド

最終更新日: 2018 年 1 月 9 日

このガイドでは、dCloud での VBrick と Spark の新しいインスタンスの使用について説明します。

### VBrick Rev と Cisco Spark の統合方法およびその有効化の方法

Spark の統合を有効にするには、Spark API アプリケーションを作成して Spark に Rev 権限を付与する必要があります。この作業は、Spark 開発者サイト [英語] で実施できます。

1. ワークステーション 1 で、Google Chrome、Mozilla Firefox、または Safari を開きます。[コラボレーションユーザリンク (Collaboration User Links)] ドロップダウン メニューから、[開発者用 Cisco Spark (Cisco Spark for Developers)] を選択します。セキュリティ メッセージを受け入れます。ローカル PC から <https://developer.ciscospark.com> [英語] にアクセスします。
2. 自身の Spark 個人アカウントを使ってログインします。
3. 次のように設定して Spark でアプリケーションを作成します。
  - 右上隅の [マイ アプリケーション (My Apps)] をクリックしてから、 記号をクリックします。



- [統合の作成 (Create an Integration)] オプションを選択します。
- [新規統合 (New Integration)] フィールドに次の情報を入力します。
  - [名前 (Name)]: **dCloud Demo** - このフィールドに入力した内容が、Spark での会話のすべての投稿に表示される名前になります。
  - [連絡先の電子メール (Contact Email)]: 自身の Spark 個人アカウントへのログインに使用したのと同じ電子メール アドレスを使用します。
  - いずれかのデフォルト アイコンを使用するか、お客様のロゴをアップロードしてデモを「カスタマイズ」します。
  - [説明 (Description)]: **dCloud Demo - VBrick Spark Integration**
  - [リダイレクト URI (Redirect URI(s))]: [http://rev1.\(collabedge- または cb\)XXX.dc-YY.com/spark/oauth/cb](http://rev1.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com/spark/oauth/cb) - VBrick Rev DNS のエントリは、セッションの詳細に表示されています。

## New Integration

### Name\*

Name of your integration in 100 characters or less.

### Contact Email\*

Contact email for Cisco internal use only.

### Icon\*

Exact size 512 (W) x 512 (H) in .jpg or .png format. Upload your own or select from our defaults.



Upload



Default 1



Default 2



Default 3

### Description\*

Details of what your integration does, how it does, benefits, your business model and how an end user can get started in 1000 characters or less. Bullets and links markdown supported.

🔍 ☰ ☰ 👁

dCloud Demo - VBrick Spark Integration

[Supported markdown](#)

### Redirect URI(s)\*

One or more URIs that a user will be redirected to when completing an OAuth grant flow. [Learn more](#)

[Add URI](#)

- [範囲 (Scopes)]: [spark:rooms\_read] と [spark:messages\_write] を選択します。


### Scopes

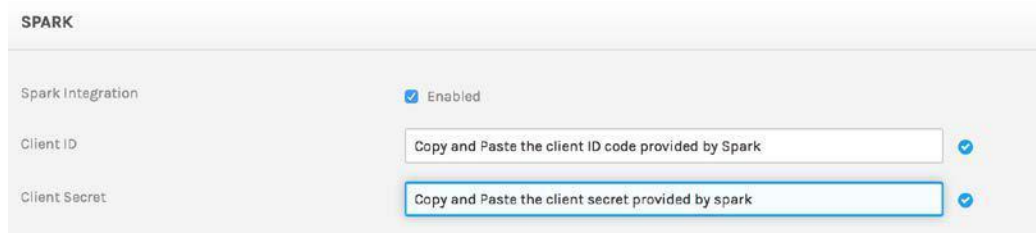
Scopes define the level of access that your integration requires. [Learn more](#)

- spark:all** Full access to your users' Cisco Spark account
- spark:people\_read** Read your users' company directory
- spark:rooms\_read** List the titles of rooms that your user's are in
- spark:rooms\_write** Manage rooms on your users' behalf
- spark:memberships\_read** List people in the rooms your user's are in
- spark:memberships\_write** Invite people to rooms on your users' behalf
- spark:messages\_read** Read the content of rooms that your user's are in
- spark:messages\_write** Post and delete messages on your users' behalf
- spark:teams\_read** List the teams your users are in
- spark:teams\_write** Create teams on your users' behalf
- spark:team\_memberships\_read** List the people in the teams your user's belong to
- spark:team\_memberships\_write** Add people to teams on your users' behalf
- spark-admin:people\_read** Access to read your user's company directory
- spark-admin:people\_write** Access to write to your user's company directory
- spark-admin:organizations\_read** Access to read your user's organizations
- spark-admin:roles\_read** Access to read roles available in your user's organization
- spark-admin:licenses\_read** Access to read licenses available in your user's organizations
- spark-admin:metrics\_read** Access to read metrics in your user's organization

- [統合の追加 (Add Integration)] をクリックすると、アプリケーションが作成されます。
- Spark アプリケーションが作成されたら、下記の説明に従って、取得した **クライアント ID** と **クライアント シークレット** をコピーし、Rev で統合をセットアップします。

#### 4. Rev で Spark の統合を有効にします。

- **ワークステーション 1** で、Internet Explorer を開くか、別のタブを開いて、[http://rev1.\(collabedge- または cb\)XXX.dc YY.com](http://rev1.(collabedge-またはcb)XXX.dc YY.com) にアクセスします。
- ユーザ名 : **tbard**、パスワード : **dCloud12345!** でログインします。
- [管理 (Admin)]  > [メディア設定 (Media Settings)] > [機能 (Features)] の順に移動します。
- [Spark 統合 (Spark Integration)] の [有効 (Enabled)] チェックボックスをクリックします。
  - Spark アプリケーションから提供された **クライアント ID** を入力します。
  - Spark アプリケーションから提供された **クライアント シークレット** を入力します。



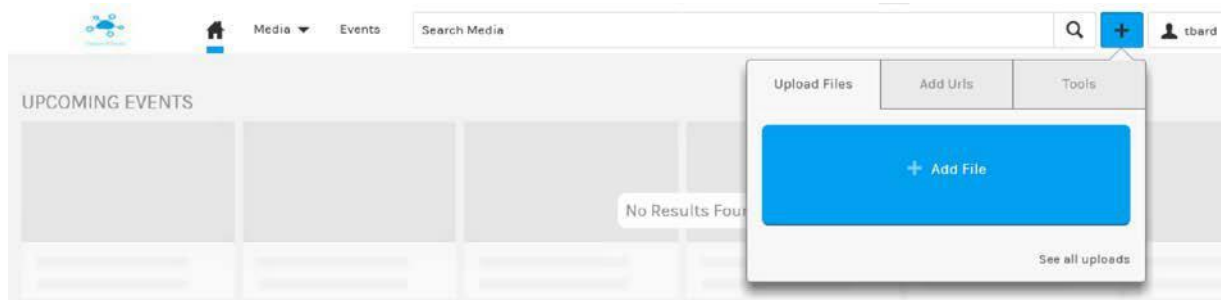
- ページ下部までスクロールして、[変更内容を保存 (Save Changes)] ボタンをクリックしてから [OK] をクリックし、設定が保存されたことを確認します。

**注:** セッション終了後に、統合アプリケーションを削除するのを忘れないようにしてください。

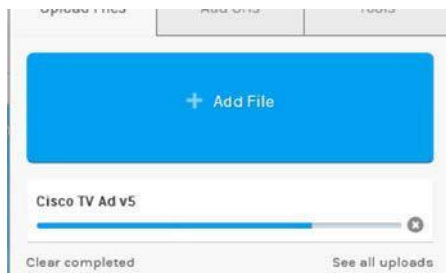
## ビデオのアップロード

**ワークステーション 1** から既存のビデオをアップロード:

1. 前のセクションで接続していなかった場合は、Internet Explorer を開き、VBrick Rev ([http://rev1.\(collabedge- または cb\)XXX.dc YY.com](http://rev1.(collabedge-またはcb)XXX.dc YY.com)) にアクセスします。
  - ユーザ名 : **tbard**、パスワード : **dCloud12345!** でログインします。
  - 右上隅のプラス記号 [ + ] をクリックします。



- [アップロードされたファイル(Uploaded Files)] タブ内で、[+ファイルの追加(+ Add File)] オプションをクリックします。
2. [デスクトップ(Desktop)] > [VoD素材(VoD Material)] の順に移動します。[Cisco TV Ad v5.mp4] を選択し、続いて [開く(Open)] を選択します。
- [+ファイルの追加(+ Add File)] の下に、アップロードのステータスが表示されます。



ローカルソースから既存の動画をアップロード(デモにお客様のコンテンツを加える上で最適な方法です):

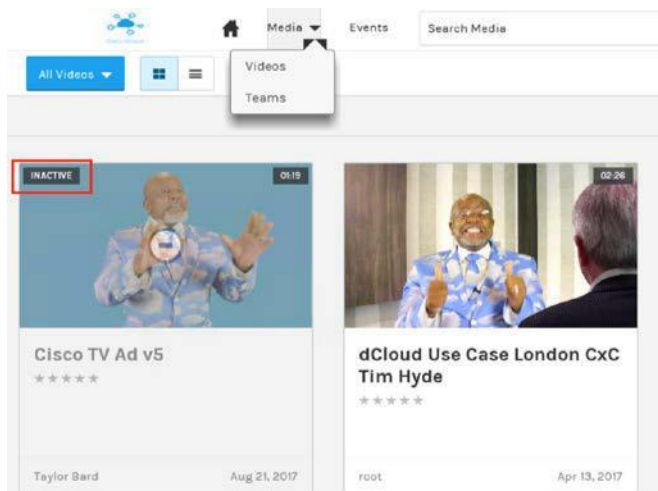
3. ローカルの PC/Mac から、Web ブラウザを開きます。
- [http://rev1.\(collabedge-またはcb\)XXX.dc YY.com](http://rev1.(collabedge-またはcb)XXX.dc YY.com) にアクセスします。
  - ユーザ名: **tbard**、パスワード: **dCloud12345!** でログインします(必要な場合)。

**注:** PC/Mac をエンドポイント ルータ キットまたは AnyConnect に接続する必要はありません。任意のパブリック ネットワークを使用できます。ファイアウォールでトラフィックがブロックされる場合に備え、念のため、デモの前にお客様のロケーションから VBrick Rev ([http://rev1.\(collabedge-またはcb\)XXX.dc YY.com](http://rev1.(collabedge-またはcb)XXX.dc YY.com)) へのアクセスを確認しておいてください。

4. ハードドライブから適切なビデオ ファイルを探し、アップロードします。
- サポートされるビデオ形式: MP4、FLV、F4V、MKV、MOV、WMV(VC-1)、MPEG-1、MPEG-2

## Vbrick でのビデオの表示と共有

1. まだ接続していない場合は、VBrick にログインします。[http://rev1.\(collabedge-またはcb\)XXX.dc YY.com](http://rev1.(collabedge-またはcb)XXX.dc YY.com) にアクセスし、ユーザ名: **tbard**、パスワード: **dCloud12345!** でログインします。
2. [メディア(Media)] > [ビデオ(Video)] タブの順にクリックします。ここには、最近アップロードした動画が表示されています。これらの動画のステータスは [非アクティブ(INACTIVE)] になります。

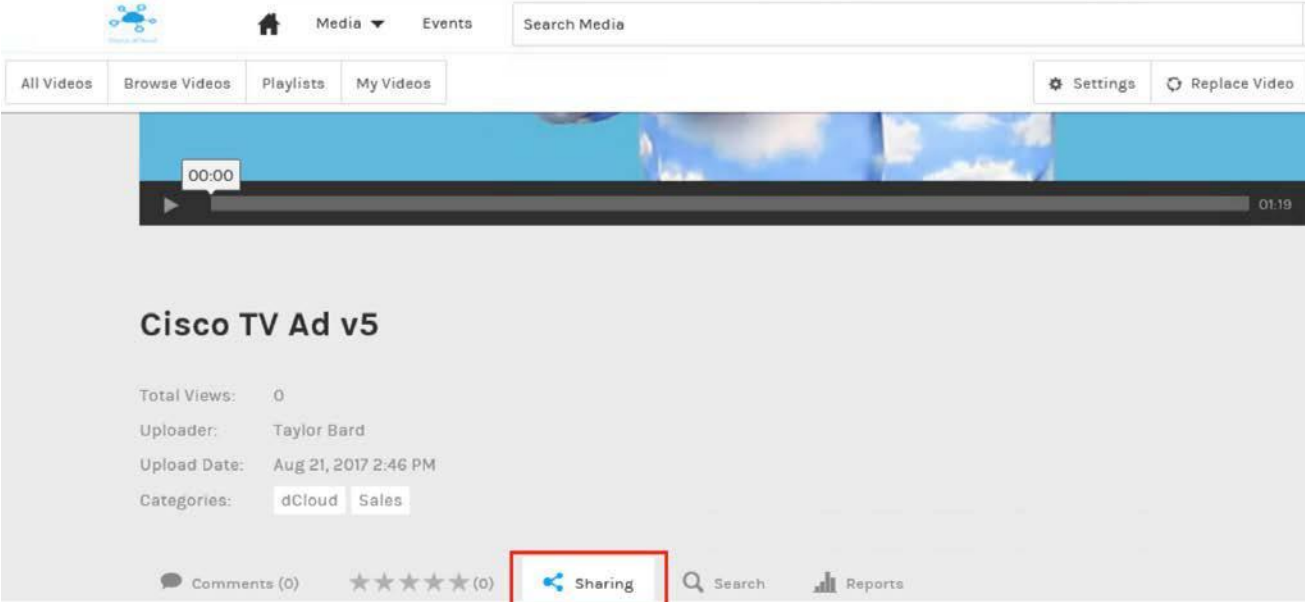


- 録画の場合、承認のプロセスを経たうえで [非アクティブ (INACTIVE)] ステータスが表示されます。ただし、デモではこのプロセスは除外されています。
2. 他の人がビデオを見られるようにするには、まずビデオを [アクティブ (Active)] にして、[許可 (Permissions)] を適用する必要があります。
- [非アクティブ (INACTIVE)] というラベルの付いたビデオをクリックして、右上の [設定 (Settings)] をクリックします。



- 必要に応じて [タイトル (Title)] を変更します。
- ステータスを [アクティブ (Active)] に変更します。
- [アクセス制御 (Access Control)] を、[すべてのユーザ (All Users)] (Vbrick ユーザのみ)、または [プライベート (Private)] (自分のみ、または個々のユーザを追加することも可能) に変更します。
- [カテゴリ (Categories)] の変更/追加: ビデオに既存のカテゴリを割り当てたり、既存のリストに別のカテゴリを追加したりすることが可能です。
- [コメント (Comments)]、[評価 (Ratings)]、[ダウンロード (Downloading)] などの機能を有効にします。
- [保存 (Save)] をクリックします。

4. ビデオの下までスクロールして [共有 (Sharing)] タブをクリックすることによって、動画を共有します。



The screenshot shows the Cisco Video Player interface. At the top, there is a navigation bar with 'Media' and 'Events' tabs, and a search bar labeled 'Search Media'. Below this, there are tabs for 'All Videos', 'Browse Videos', 'Playlists', and 'My Videos', along with 'Settings' and 'Replace Video' buttons. The video player itself shows a video titled 'Cisco TV Ad v5' with a progress bar at 00:00. Below the video, the title 'Cisco TV Ad v5' is displayed, followed by metadata: 'Total Views: 0', 'Uploader: Taylor Bard', 'Upload Date: Aug 21, 2017 2:46 PM', and 'Categories: dCloud Sales'. At the bottom of the video player, there are buttons for 'Comments (0)', 'Rating (0)', 'Sharing' (highlighted with a red box), 'Search', and 'Reports'.

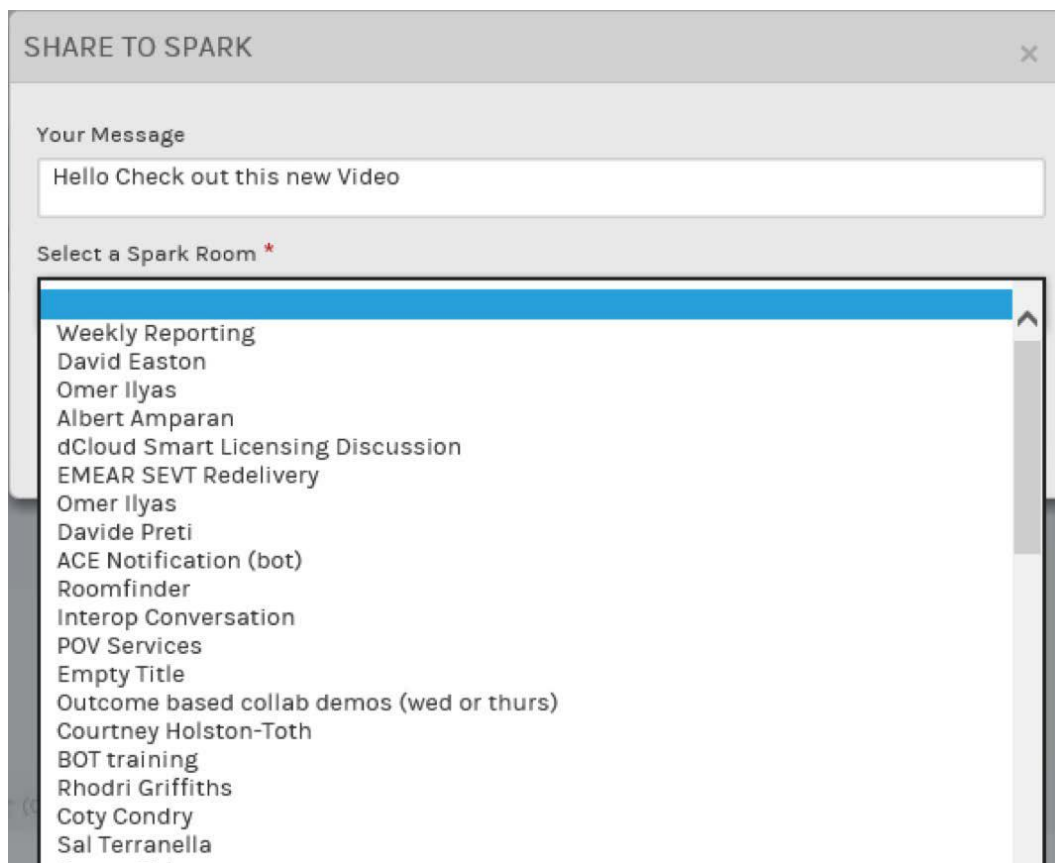
Share this video as: [Link](#) [Embed](#)

<http://rev1.cb145.dc-01.com/#/videos/aa4f1992-db10-49c1-9c54-55075f621eec>

Start at: 00:00 [E-mail](#) [Copy](#) [Share To Spark](#) (highlighted with a red box)

**i** Login required to view this video.

- Spark Room と共有するには、[Sparkに共有 (Share to Spark)] をクリックします。
  - [Sparkに共有 (SHARE TO SPARK)] ウィンドウが開きます。[ログイン (Login)] を選択します。[Spark] ページにリダイレクトされます。ここで、Spark メール アドレスとクレデンシャルを入力する必要があります。このログイン手順は 1 回限りです。
  - ログインが成功したら、メッセージを書き込んで、ビデオの投稿先とする **Spark Room** を選択します。



©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2018年3月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先